

事業番号	09 06 07	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業リーダー育成事業 （農業で夢をかなえる支援事業）			部局	農政部		
				課・局・室	農村振興課		
総合5か 年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト 3-4-1 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト		E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 1 夢ある農業を実践する経営体の育成		実施期間	S42 ~		
人口定着・ 確かな暮 らし実現 総合戦略	信州創生の基本方針	4-4 信州創生を担う人材の確保・育成					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	本県農業生産の中核を担う青年農業者等を農業リーダーとして育成するとともに、農業士、農業経営士、農村生活マイスターの認定を行い、本人の農業活動や経営発展を支援し、農業・農村の振興と活性化を目指す。											
現状 （予算編成時）	基幹的農業従事者の高齢化が進行し、経営規模の縮小や離農が進んでいる。近年、新規就農者は増加傾向にあるものの、本県農業の維持、発展のためには、地域の営農活動や農村集落における中心的な役割を担うリーダーの育成が重要であり、青年農業者、先進的・企業的農業者、女性農業者等の農業経営者を育成、支援する必要がある。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 新たな地域リーダーの育成確保と農業者のスキルアップを進めるには、農業者への指導体制を有する県の関与が必要である。長野県食と農業農村振興計画										
成果目標・ 事業内容	① 成果目標 (H28)											
	○農業リーダー(農業士、農業経営士、農村生活マイスター)の新規認定数 72名 (設定理由:認定者の年齢構成等を勘案し、将来に渡って活動を維持することを目指して認定数を設定)											
	○家族経営協定の新規締結数 126戸 (設定理由:長野県農村女性チャレンジプランにおいて締結数を設定)											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初) (決算)	H29 (当初)					
	1	農業リーダー認定事業	直接	農業士、農業経営士、農村生活マイスターの認定研修会及び認定会議の開催		159	187					
2	農業リーダー育成研修事業	補助金 負担金 直接	補助先(長野県農業再生協議会) 負担先(平成28年度全国農業青年交換大会実行委員会) 青年農業者及び農村女性の育成・活動等の支援		3,081	2,147						
3	農業者販売PR活動実践事業	直接	農産物販売実践支援事業の実施及び農村女性フェスティバルの開催		608	617						
4	信州農業MBA研修事業	直接	農業経営研修会の開催		6,602	2,871						
5	物件費	直接	県が事業を実施するために要する経費		2,981	2,224						
			合計		13,431	8,046						
事業 コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	12,942	13,431	13,749				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-3,097	-2,615								
		合計(A)	9,845	10,816	13,749							
	Aの 財源	一般財源	2,480	2,970	3,430	農業リーダー認定数	65	46	72	44	未達成	60
		県債				家族経営協定締結数	79	113	126	77	未達成	-
		国庫支出金	4,063	4,544	7,182							
		その他	3,302	3,302	3,137							
	ト	決算額(B)	8,553	8,046								
概算 人件費	職員数(人)	3.20	3.20	3.20								
	概算人件費(C)	26,483	25,325	25,325								
	概算事業費(B(A)+C)	35,036	33,371	39,074								
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 農業リーダーの認定数については、関係機関と連携して農業者への啓発に努めたが、認定講習会の開催時期と農繁期との重なりによる申請辞退、家庭の事情による申請取り下げなどにより、目標72人に対し44人とどまった。 家族経営協定締結数については、関係機関と連携し、学習会を開催するなど啓発に努めたが、協定締結についての理解が進まなかったことから、77戸にとどまった。 											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	<ul style="list-style-type: none"> 資格認定や研修による農業リーダーの育成・支援は、本県農業・農村の振興と活性化等に資することから県として継続して実施していく。 農業リーダーの認定については、認定者が組織する協会の研修活動等への支援を図るとともに、認定者が地域の農業者に勧めることが効果的であり、農業改良普及センターと連携し制度の啓発に努める。また、認定講習会の開催時期の見直しにより、さらに受講しやすい体制づくりを進める。 企業的農業経営体を増やすことを目的に実施している信州農業MBA研修については、今後も意欲的な若手農業者が受講しやすいように研修時期や場所、修了生に対するフォローアップ強化も含めた研修内容の見直しを行い、優れた経営感覚を備えた農業経営者の育成を図る。 家族経営協定については、農業委員と連携を図り、男女ともに参加する会議や学習会等での啓発により、家族全員の理解を深めていくとともに、青年農業者団体等への啓発を行い制度の理解を深める。 	